

## お知らせ

全国研究会  
のご案内



### 第52回 東北地区国語教育研究

協議会・弘前大会

開催日 平成十五年十一月六日(木)・七日(金)  
会場 弘前市立時敏小学校・弘前市立第五  
中学校・青森県立弘前高等学校・  
弘前市民会館

テーマ 生きてはたらく国語の力

↳ 不易流行の視点から

連絡先 弘前市立朝陽小学校内 工藤浩司校長

〒〇三六・八二一六 弘前市在府町三六

電話 〇一七・一三三・三六四七

弘前市立第五中学校内 須藤満輝校長

〒〇三六・八一〇三 弘前市川先二四一

電話 〇一七・一三三・三〇六四

青森県立弘前高等学校内 真嶋尚人・須藤一光

〒〇三六・八五五八 弘前市新寺町一

電話 〇一七・一三三・一〇五一

ファックス 〇一七・一三三・三三二七

### 第39回 東北書写書道教育研究会岩手(盛岡)大会

開催日 平成十五年十一月十三日(木)・十四日(金)

会場 盛岡市立高松小学校・盛岡市立河南中学校・

岩手県立盛岡第四高等学校・サンセーブル盛岡(全体会)

テーマ 生きる力を育む書写書道教育

連絡先 盛岡市立見前小学校内 鎌田 慎

〒〇二〇・〇八三三 盛岡市西見前一八・一七二

電話 〇一九・六三八・一六一八

ファックス 〇一九・六三八・二六三〇

## 広報課便り



平日を都会の喧騒の中で暮らす私にとつて、茶道の稽古は心から憩える楽しみの一つです。あるとき、旅先で茶碗に絵を描いて楽焼きを楽しみました。正面には絵を描くのですが、横や後ろはどう色を掛けてよいか分からず、素焼きの茶碗になってしまいました。しばらくして茶席で名人の茶碗を拝見し、その技術の高さが改めて分かるような気がしました。自分で作ってみるとその難しさが分かり、人が作ったものの価値がそれ以前よりはるかに理解できるものです。

原正寛先生が、子どもたちに「外来語と日本文化」という題で作文を書かせ、その後に渡辺先生の文章に出会わせるとお書きになっていますが、この文章を拝見したとき、そのことを思い出しました。

茶席では、掛け軸や茶碗など限られた道具に亭主の心を示すさまざまな情報が凝縮されています。客は、道具のいわれなどを亭主に尋ね亭主の意図を絵解きのように受けとめていきます。一つ一つの道具に思いを巡らせれば巡らせるほどに亭主のさまざまな意図への理解が深まっていきます。一見すると季節感しか感じ取ることができないものでも、亭主の人生観のようなまで表現されていることに驚くこともあります。

清水建宇さんもおっしゃるように、情報は受け止め方によっていかようにも変化するもののような気がします。いかに多くの情報を受け取るかという点もなることながら、どのように自分のものとして受けとめるかが重要になってくるのでしよう。

次号予告

### 特集テーマ

「国語の力」を育てる

基礎・基本の力